

教えてください

あなたの夢

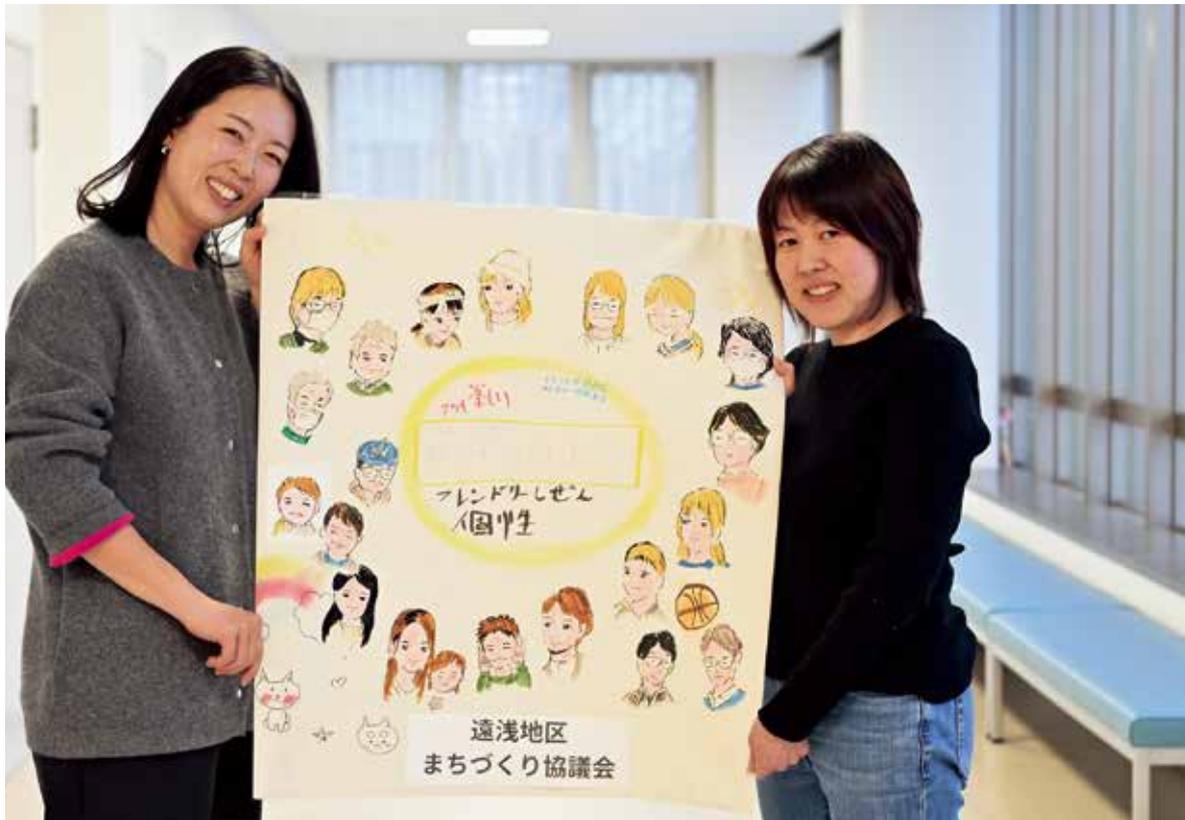
— Vol. 9 —

掲載をご希望される方は
お問い合わせください

問合せ 総務課情報グループ
☎ 2511

明るく楽しい地域の輪

まちづくり協議会を拠点に広がる



数藤 明梨さん / 松隈 美沙さん

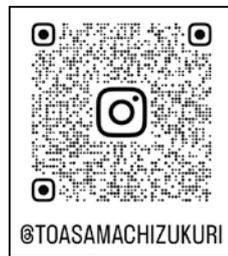
今回は、遠浅地区まちづくり協議会会長の松隈さんと事務局の数藤さんにお話を伺いました。

遠浅地区は、都会にはない程よい人の距離感とつながりの強さ、アクセスの良さが魅力の地域ですが、遠浅小学校の閉校により、世代を超えた交流が減少し、交流の場づくりが現在の課題となっているとのことです。

まちづくり協議会では、定期的なイベントの開催や「グリーンフェス」「防災キャンプ」などの復活に取り組み、住民アンケートなどを実施しながら今後の方向性を検討することで、遠浅地区が年齢を重ねても安心して暮らせる「助け合いの地域」となることを目指しています。

お二人は「まずはイベントに参加してもらいたい。意見や要望を寄せるのはもちろん、運営に協力してくださる方も大募集しています。まちづくり協議会を拠点に、明るく楽しい地域の輪を広げていきたいと思っていますので、皆様のご協力をお願いします」と素敵なお話を教えてくれました。

遠浅地区まちづくり協議会の情報や問い合わせは、右記二次元バーコードを読み取り、公式Instagramをご覧ください。協議会へ直接のご意見も大歓迎とのことです。



編集者コラム

総務課情報グループ
中崎 凌

「まちの好きを、もう一度」

今月の広報特集は、昨年の広報あびら11月号でお知らせしたABILEEKUPプロジェクトの続報で、町民限定プレミアム体験イベントの予告です。

見慣れた風景の中に息づく、このまちの誇る地域資源。その魅力を改めて体感していただくために「SL」「菜の花」「食」「馬(軽種馬産業)」をテーマに全4回のイベントを予定しています。

そして今月号の表紙は、町のデジタル体験イベントで「3Dプリンター」を用いて制作した3Dロゴを使用しています。

新たな技術を取り入れて、何かを表現することも、まちの新たな魅力の一つかもしれません。また、その魅力を広報紙という形で届けることが、中崎にとつてのABILEEKUなのだと思えます。「広報あびら、ABILEEKU」